

激変する社会

2019年の4月から、有給休暇の取得が義務化されます。有給は取らないのが当たり前という風土の中で生きてきた身としては、いよいよ働き方が変わるといふ実感があります。ただ、業務量が減らない限り、どこかにひずみがあるのは明らかです。これをどうするかについては、抜本的な解決策がないのが現状です。

他方で、AIの進化は目覚ましく、この原稿を書いている最中にも、関連のニュースが次々と飛び込んできます。たとえば、トヨタ自動車とソフトバンクが自動運転技術などで新会社をつくるというニュースや、キオスクの店員、警備員、キャスターなど、これまで人間が担っていた仕事が続々とAI化されているというニュースなど。

このように、働き方が議論される背景には、私たちを取り巻く環境の大きな変化があります。まず、AIをはじめとしたテクノロジーの急速な進化、そして人生100年時代と呼ばれる長寿社会、さらにますます加速する少子高齢化やグローバル化、もはや受け入れざるを得ない成熟社会という現実……。今、こうした問題が私たちの働く環境を大きく変えようとしているのです。

もちろん、震災や経済の縮小、安全保障問題など、日本にはほかにもたくさん問題があるわけですが、以下では働く環境に直接影響を及ぼしそうな5つの問題にしばって、話を進めていきたいと思います。

▽AI時代の到来

それでは1つ目、AIをはじめとしたテクノロジーの急速な進化からいきましょう。これは誰もが日々実感していることでしょう。「OK、

*有給休暇の取得義務化

働き方改革関連法の成立により、2019年4月より、企業に「年5日の有休取得」が義務づけられる。

*AI

人工知能。Artificial Intelligenceの略。人間が備えるような知的能力の発揮が可能なコンピュータ。近年では、ディープラー

ニング(深層学習)という手法が進んだことにより、AIの画像認識や音声認識の精度が向上した。

*自動運転技術

人間にかわってAIが状況判断や運転操作を行い、自動車を運転する技術。

*成熟社会

経済や社会の成長がピークを迎え、何不自由なく生活できるものの、今後の急速な発展は見込めない社会の状況。